



七里小だより

冬休み号

さいたま市立七里小学校

令和5年12月22日

伝統継承・ふるさとを思う

さいたま市立七里小学校

主幹教諭 吉田 裕子

2学期も、地域及び保護者の皆様には本校の教育活動にご協力いただき感謝申し上げます。

子どもたちにとっては、毎日が新しい学びの連続で、上手にできることもあれば、失敗することもある。友達とけんかをしたり、先生に叱られたり、苦しく悲しい気持ちになることもある。そんな時、自分を励まし支えてくれる人がいたら、子どもたちは頑張れます。最近、そんな風景を目にすることができました。

先日、1年生から6年生までが1つのグループになっている縦割り班で、掃除を行いました。高学年が、低学年のお手本になって掃除の仕方を教えながら各教室や廊下を磨きました。高学年と低学年が頭を寄せ合って廊下を雑巾で拭く姿は、ほほえましくもあり、伝統を受け継いでいく原点を見せられた気持ちになりました。

また、先日、東門前自治会の餅つき会に参加させていただきました。子どもたちが、地域のごみ拾いをしている間、地域の方が、薪をつかって餅米を窯で蒸していらっしゃいました。子どもたちは、用意していただいた杵と臼を使って餅つきをするのですが、なかなか上手くいきません。周りにいた地域の方が、子どもたちに「もっと下を持つんだよ」と杵の持ち方を教えたり、「それ！それ！」と掛け声をかけたりしている姿に、私が子どもの頃、地域の方に手取り足取り盆踊りを教えていただいたときのことを思い出しました。

私は、自分のふるさとが大好きです。それは、両親や地域の方が私を愛情いっぱい育ててくれたからです。愛情いっぱいの中で育った子は、【七里小コミスクテーマ】『笑顔で 強く たくましい子』となり、将来、ふるさとを思い大事にする人、地域、日本、世界に貢献できる人になってくれると確信しています。七里小の子どもたちは、まさしくそんな大人になれるでしょう。

年末年始は、大掃除、門松、鏡餅、年越しそば、年末年始のご挨拶、おせち、お雑煮等日本の伝統的な行事や食がたくさんあります。親から子へ、行事の意味も伝えながら、一緒に準備していただけたらと思います。学校も、七里小の先輩方が残してくださった伝統を大切にしながら、今の子どもたちが時代に合った新たな伝統を作っていく支えになっていきます。

来年は、辰年。辰年は、十二支の中で、最も縁起のよい干支と言われています。あらゆる物事をよい方向に導いてくれる力があるとされています。七里小にかかわる全ての皆様にとって、来年が幸せいっぱい最高の1年となりますようご祈念申し上げます。七里っ子よ、先頭にタツ(辰)て、学校を、地域を盛り上げていってください。期待しています。